

戦後80年
戦後世代が考える
「語り継ぐ」こと

中国残留邦人等への 理解を深める集い *in* 東京

撮影：浜口タカシ 提供：(公財)中国残留孤児援護基金



2025年

11/24 (月・祝)

13:00~16:15 (12:30開場)

会場：目比谷コンベンションホール

(千代田区立目比谷図書文化館B1F 東京都千代田区目比谷公園1-4)

入場無料!

定員200名

第1部

映像

「二つの国の間で」

～中国残留邦人はなぜ生まれたのか～

講話

中国残留邦人等の体験と労苦を
伝える 戦後世代の語り部講話

【講話1】

ある中国残留婦人の満蒙開拓団
での体験～何故満洲に行ったの
か?なぜ帰れなかったのか?～



【講話2】

終戦から80年、今も苦しんで
いる人がある～ある残留孤児が
経験した戦後～



講話風景

※戦後世代の語り部は、高齢化する中国・樺太帰国者の忘れ去られようと
する歴史の記憶を語り継ぐと、首都圏中国帰国者支援・交流センターの
育成研修に参加し、委嘱を受けた人たちです。

第2部

映像

「遠い対岸」

～樺太残留邦人はなぜ生まれたのか～

講演

「語る」から「語り継ぐ」へ
ー戦争体験継承の新しい試みー

駒澤大学文学部教授

戦後世代の語り部育成事業
総合アドバイザー



加藤 聖文 氏

座談会

語り部と考える「語り継ぐ」こと
[メンバー]

加藤 聖文氏と戦後世代の語り部たち



残留



訪日肉親調査



帰国、暮らし



学習、交流



介護

主催：首都圏中国帰国者支援・交流センター

後援：東京都

★参加希望の方は事前にお申し込みください。申込方法は裏面に!



写真の説明は「中国帰国者支援・交流センターとは」をご覧ください。

都内にも高齢となった多くの帰国者と家族の方々が暮らしています。戦後80年を迎えた今、帰国者の人生の軌跡をたどり、歩んでこられた苦難の歴史を風化させることのないよう、戦後世代の私たちが、その体験と労苦を語り継いでいきませんか？

※お申込みの際にご提供いただいた個人情報（氏名、居住地、電話番号、メールアドレス、年齢等）は、今回の集いの参加確認や結果の取りまとめのためのみに利用し、それ以外の目的で利用することはありません。